

日本鐵鋼協會記事

(I) 昭和 28 年度第 5 回理事會報告 日時: 28—7—8 (水) 16・30~18・30. 会場: 協会々議室. 出席者〇:(会長) 伊藤隆吉, (副会長) 小林佐三郎, (理事) ○石原善雄, ○内川 悟, ○菊池浩介, ○佐藤忠雄, 田畠新太郎, 湯川正夫, 横山均次, (前会長) ○俵 国一, 松下長久, ○三島徳七, ○山岡 武, ○田中清治, (監事) 石田四郎, ○石田 稔, (常務委員) ○阿部信男, 芥川 武, ○伊木常世, 岡本正三, ○俵 信次, ○西村吉太郎, ○毛利敏三郎, 柳 武, ○吉崎鴻造, (研究部会長) ○浅田 讓, 大原久之, 殿村秀雄, 松永陽之助, (事務局長) ○橋本芳雄.

報告事項 I. 日本学士院会員候補者推薦に関する件 (被推薦者京大教授沢村宏君へ推薦書 28—6—30 提出). II. 事務局長用机, 椅子, 帽子掛を八幡製鉄より寄贈ありたる件 (28—6—16). III. 敬老会より, 本多, 俵, 桂各先生に贈呈すべき鎌倉彫杖 (箱付) 完成の件 (28—7—2). IV. 会誌 4 月号発送済の件 (九州水害地向け小包留置) (28—7—3). V. 秋季講演大会に関する件. 1. 講演申込数 94. 2. 講演プログラム編成 (28—7—6). VI. 学術定期刊行物の出版方式に引用文献記載方法に関する ISO 推薦状案に対する意見提出の件. VII. 東亜工学工業大会開催に関する件.

協議事項 I. 工業技術院より依頼の日本工業標準調査会標準専門委員推薦の件—決定 (横山均次君を推薦のこと). II. 事務員田辺芳子退職並にその後任採用の件—承認 (退職手当支給のこと, 後任採用のこと). III. 昭和 28 年 6 月分収支決算審議の件—承認. IV. 入退会者その他会員異動に関する件—承認. V. 世界動力会議, 國際振興会議並に國際標準化機構 (ISO) 鉄鋼部会の日本代表推薦依頼の件 (心当たりあらば申出で理事会に附議すること). VI. 非鉄金属介在物, 結晶粒度, 烧入試験法; 各規格委員会設置の件—決定. VII. 鉄鋼問屋業者に維持会員として入会懇請の件—決定.

(II) 昭和 28 年度第 4 回編集委員會 日時: 昭和 28 年 6 月 23 日 16・30~21・30. 会場: 協会々議室. 出席者〇(理事) ○菊池浩介君, ○横山均次君, (常務委員) 芥川 武君, 俵 信次君, 岡本正三君, (編集委員) ○池田義孝君, 内山道良君, ○沢 繁樹君, ○浜本甲子生君, ○松下幸雄君, ○三橋鉄太郎君, 光井 清君, 森永孝三君, ○安田洋一君, 山木正義君, ○吉田道一君, (臨時出席) ○高見沢栄寿君, (事務局長) ○橋本芳雄, (編集主任) ○三宅運秀.

報告事項 1. 昭和 28 年 4 月号は 6 月 23 日竣工. 2. 昭和 28 年 5 月号は 7 月 1 日迄に竣工の予定. 3. 英文鉄と鋼 abstracts 海外送付先照会に対する回答はアメリカを除き別紙の通りほぼ完了. 4. 学術定期刊行物の出版方式並に引用文献記載方法に関する ISO 推薦状案に対する意見の提出の件.

協議事項 1. 英国鉄鋼協会より会誌交換申込に対し回答の件—交換のこと (先方よりは 1953 年 1 月より送付の旨申し来る). 2. アメリカ鉄鋼協会より会誌交換又は購入申出に関する件—交換のこと. 3. 英文鉄と鋼 abstracts 海外向送付挨拶状に関する件—文案起草の上高見沢氏へ英訳依頼. 4. 1953 年度毎日学術奨励金受給者推薦に関する件—なし. 5. 塑性加工に関する専門講演会に関し回答の件—機械学会へ経費其他問合せの上, 会告として講演者募集 (作年は秋期講演会の期日と接近せる為加入せず). 6. 神戸製鋼社長浅田長平氏著 “わが國機械工場の陳腐老朽化について” を会誌に圧縮掲載の件—掲載のこと. 但し内容圧縮は神戸製鋼へ依頼. 7. 本年 6 月以降の会誌発行を順調ならしむる方策に関する件—別紙の如く半月ずつ発行を早めることによつて遅れを取り戻す. 8. 昭和 28 年 8 月号原稿選定の件—別紙の通り決定. 9. 工業技術院より依頼の重要研究問題解答の件—研究部会関係のものを報告し, 撰述は吉田委員に依頼. 10. 秋季講演大会講演前刷原稿整理に関する件—7 月 6 日午後 1 時より内容検討の上プログラム作製.

(III) 第 14 回鐵鋼要覽改編委員會 日時: 昭和 28 年 6 月 15 日 16・30~18・30. 場所: 協会々議室. 出席者〇(委員長) ○田中清治君, (委員) ○山岡 武君, ○志村清次郎君, ○岡本正三君, ○堀川一男君, ○佐藤忠雄君, 俵 信次君, 吉田道一君, 芥川 武君, 長谷川正義君, ○光井 清君, (臨時) (丸善側) ○五十嵐君, (協会) ○橋本事務局長 ○三宅運秀.

報告及協議事項 原稿は大体纏まり内容整理済の数篇は既に丸善出版部に手交. 尚, 編集の完璧を期する為下記の通り各篇毎に担当者を設け, 印刷出来上り返面倒を見て頂く事にした.

記

各 篇 担 当 者	○○第一篇 吉田道一君	○第五篇	○○第二篇 芥川 武君	○○第三篇 光井 清君	○○第四篇 堀川一男君	○○第五篇 池田義孝君	○○第六篇 荒井 登君(八幡)	○○第七篇 岩本正三君	○○第八篇 安田洋一君	○○第九篇 佐藤忠雄君	○○第十篇 内山道良君	○○第十一篇 沢 繁樹君	○○第十二篇 三橋鉄太郎君	○○第十三篇 長谷川正義君	○○第十四篇 浜本甲子生君	○○第十五篇 田中清治君
	×第二篇 芥川 武君					○○第六篇 三橋鉄太郎君										
	○○第三篇 光井 清君															
	○○第四篇 堀川一男君															

備考 ○○印は原稿完了, 内容整理済の上丸善へ渡しづみ, ○印は原稿完了, 目下担当者に於て内容整理中.

×印は原稿一部未着